

木更津市議会議長 重城 正義 様

交通政策特別委員会

委員長 渡辺 厚子

交通政策特別委員会調査結果について

本特別委員会の所管事項調査結果につきまして、下記のとおり報告いたします。

記

1 所管事項

全国的に交通手段の存続等が大きな問題となっており、今後さらなる高齢化社会を迎え、交通手段の確保などがさらに重要となることから、公共交通その他交通に関する諸政策について、調査・研究に取り組むものである。

2 調査の経過

日 付	会 議 等 の 種 類	議 題 等
令和元年 6 月 17 日	委員会	・正副委員長の互選について 委員長 渡辺 厚子 副委員長 鶴岡 大治
令和元年 6 月 26 日	協議会	・公共交通に関する取り組み状況について 執行部より、公共交通施策に係る市としての基本方針や、交通不便地域への対策などの平成 3 0 年度の取組状況の概要説明があり、質疑を行った。
令和元年 9 月 24 日	協議会	・路線バスに関する住民アンケート調査の状況について 執行部より、近年のダイヤ改正で大きな影響を

		<p>受けている地区のうち、真舟地区を対象としたアンケート調査、住民意見交換会の結果について説明があり、質疑を行った。</p> <p>・運転免許返納の取り組みについて</p> <p>執行部より、本市における運転免許証返納数の推移や、近隣自治体等が取り組んでいる支援措置の内容について説明があり、質疑を行った。</p>
令和元年 12 月 16 日	委員会	<p>・令和元年度行政視察について</p> <p>三重県四日市市へ行政視察を実施することと決定した。</p>
	協議会	<p>・路線バスに関する住民アンケート調査の状況について</p> <p>執行部より、近年のダイヤ改正で大きな影響を受けている地区のうち、大久保・八幡台・羽鳥野・烏田地区を対象としたアンケート調査、住民意見交換会の結果について説明があり、質疑を行った。</p>
令和 2 年 1 月 16 日～ 17 日	行政視察	<p>(1) 三重県四日市市</p> <p>生活バスよっかいちについて</p> <p>四日市市では、路線バスの廃止を受け、住民主体により、支援企業、バス事業者、行政との協働でNPO法人を立ち上げ、生活バスよっかいちを運行しており、事業内容の説明を受け、質疑を行った。</p>
令和 2 年 3 月 24 日	協議会	<p>・木更津市地域公共交通再編実施計画について</p> <p>執行部より、新たな交通システムの導入やバス路線の再編等を実施するため、策定を進めている地域公共交通再編実施計画について説明があり、質疑を行った。</p> <p>・路線バス補助金制度について</p> <p>執行部より、バス事業者に対し支出している補助金の対象経費の算出方法や、国、県補助路線に関する補助金制度の内容等の説明があり、質疑を行った。</p> <p>・令和元年度行政視察の報告について</p> <p>視察結果報告書（案）により、協議を行い、報告書の最終決定を行った。</p>
令和 2 年 9 月 23 日	協議会	<p>・J R 巖根駅総武線快速停車基礎調査について</p> <p>執行部より、総武線快速の巖根駅への停車の実</p>

		<p>現に向けて、協議を行うために実施した基礎調査業務委託について説明があり、質疑を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納の取り組みについて 執行部より、近隣自治体等が取り組んでいる支援措置の内容や、本市の検討内容について説明があり、質疑を行った。
令和2年12月15日	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの再編について ①高倉線、かずさアカデミアパーク線の統合 ②八幡台ニュータウン線、シーアイタウン線、真舟・君津中央病院線の統合 執行部より、持続可能な公共交通の整備に向け、実施を予定しているバス路線の再編について、説明があり、質疑を行った。 ・「ふくちゃんバス」の実証運行の状況等について 執行部より、7月から富来田地区で実証運行を行っているふくちゃんバスについて、運行状況や収支などの概要説明があり、質疑を行った。
令和3年3月19日	委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情第1号 JR内房線へのワンマン運転導入に関する陳情書 安全運行を求める観点から陳情に賛成するという意見や、趣旨採択にすべきとの動議が提出されたものの、賛成者少数により、不採択にすべきものと決定した。
	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情第1号にかかる陳情者からの趣旨説明 委員会休憩中に、陳情者より趣旨説明を受け、質疑を行った。 ・路線バス（八幡台ニュータウン線、シーアイタウン線、真舟・君津中央病院線）の再編計画及び運行開始時期の見直しについて 執行部より、再編の準備を進めていた路線について、バス事業者から計画及び開始時期の見直しを行いたいとの申出があった旨の説明があり、質疑を行った。 ・運転免許返納の取り組みについて 執行部より、運転免許返納の取組として、令和3年度から実施を予定している高齢者タクシー利用助成事業の概要について説明があり、質疑を行った。

令和3年6月22日	委員会	<p>・陳情第6号 アクアステーション（仮称）のハブ化された高速バスターミナルの設置を求める陳情書</p> <p>本市を含む周辺地位に与える影響等、引き続き調査研究を要することから、賛成者多数をもって、継続審査とすることと決定した。</p>
	協議会	<p>・陳情第6号にかかる陳情者からの趣旨説明</p> <p>委員会休憩中に、陳情者より趣旨説明を受け、質疑を行った。</p> <p>・路線バスの再編について</p> <p>①八幡台ニュータウン線、シーアイタウン線、真舟・君津中央病院線</p> <p>②馬來田線</p> <p>③中郷・富岡線</p> <p>バス事業者より、延期していた八幡台ニュータウン線等の再編について、新たな再編計画の説明があり、質疑を行った。</p> <p>執行部より、不採算路線である馬來田線、中郷・富岡線について、運行区間を短縮する旨の説明があり、質疑を行った。</p> <p>・「ふくちゃんバス」の本格運行に向けた運行内容の変更について</p> <p>執行部より、これまで実証運行を行ってきたふくちゃんバスについて、7月より本格運行を開始し、それに伴い運行ルートや運賃体系を変更する旨の説明があり、質疑を行った。</p> <p>・木更津市高齢者タクシー利用助成事業について</p> <p>執行部より、7月より開始する高齢者タクシー利用助成事業の対象要件、利用方法などの詳細について説明があり、質疑を行った。</p>
令和3年9月17日	委員会	<p>・陳情第6号 アクアステーション（仮称）のハブ化された高速バスターミナルの設置を求める陳情書</p> <p>事業の計画や規模が不明確であるとの意見があったものの、アクアラインを活用した房総地域全体の高速交通網整備へのきっかけづくりとなる点は評価すべきであるとの意見があり、賛成者多数をもって、趣旨採択すべきものと決定した。</p>

	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・陳情第6号にかかる陳情者からの趣旨説明 委員会休憩中に、陳情者より6月定例会以降の活動状況などについて説明を受け、質疑を行った。
令和3年12月14日	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・生活路線バスの維持に係る市補助金について 執行部より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、赤字額が増加しているバス路線に対し、補助を拡大する旨の説明があり、質疑を行った。
令和4年6月17日	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環バスの実証運行について 執行部より、6月補正で計上している市街地循環バス運行委託費について、実証運行スケジュールなどの概要説明がなされ、質疑を行った。 ・JR内房線巖根駅バリアフリー化の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> ①岩根人道跨線橋エレベーター設置工事について ②巖根駅東側改札口の設置について 執行部より、巖根駅のバリアフリー化として行われる2事業のスケジュール、予算などの概要説明が行われ、質疑を行った。
令和4年9月20日	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環バスの実証運行について 執行部より、市街地循環バスの実証運行について、プロポーザル方式により、事業者と契約を締結し、計画の一部を見直した旨の説明があり、質疑を行った。 ・岩根人道跨線橋エレベーター設置工事の完成予定時期の延期について 執行部より、物価高騰の影響で工事予定価格が1億5千万円を超え、契約の締結にあたり、議会の議決が必要になったことから、完成予定時期が延期となる旨の説明があり、質疑を行った。 ・JR久留里線の収支公表を踏まえた市の対応について 執行部より、赤字路線として収支が公表されたJR久留里線について、国が設置した検討会の提言内容や、市としての利用者増加の取組などの説明があり、質疑を行った。 ・木更津市地域公共交通計画策定に係る進捗状況について

		<p>執行部より、令和4年度末までの現行計画の後継として現在策定を進めている地域公共交通計画について、進捗状況の説明があり、質疑を行った。</p>
	委員会	<p>・令和4年度行政視察について 山梨県上野原市へ行政視察を実施することと決定した。</p>
令和4年10月21日	行政視察	<p>(1) 山梨県上野原市 中心市街地循環バスの運行について 上野原市では、中心市街地循環バスについて、2年間の実証運行期間中に利用者が増加したことから、令和3年10月より本格運行をしており、事業内容の説明を受け、質疑を行い、現地視察を行った。</p>
令和4年12月9日	協議会	<p>・木更津市地域公共交通計画（素案）に係る意見公募について 執行部より、地域公共交通計画（素案）の概要説明や、12月15日より意見公募を行う旨の説明があり、質疑を行った。</p> <p>・令和4年度行政視察の報告について 視察結果報告書（案）により、協議を行い、報告書の最終決定を行った。</p>
令和5年3月20日	協議会	<p>・市街地循環バスの実証運行結果について 執行部より、令和4年11月から令和5年1月まで実施した市街地循環バスの実証運行について、利用実績などの説明があり、質疑を行った。</p> <p>・岩根人道跨線橋エレベーター設置工事の進捗等について 執行部より、現在設置工事を行っている岩根人道跨線橋のエレベーターについて、進捗状況や今後のスケジュールなどの説明があり、質疑を行った。</p> <p>・所管事項調査の総括について 本委員会の調査活動について、意見交換を行い、調査結果報告書の取りまとめを行った。</p>

3 調査の結果又は概要

人口減少や少子高齢化が急速に進展するなか、市民の移動手段を確保することの重要性がますます高まっており、委員会では、本市の地域特性に応じた持続可能な公共交通の確立に向けた各種施策を中心に調査・研究を行ってきた。

路線バスについては、新型コロナウイルス感染症の影響による運賃収入の減少や、燃料費の高騰も相まって、交通事業者を取り巻く環境は厳しい状況となっている。この4年間においては、利用者が少なく、運行経路の重複、長大化している路線の短縮化や統合が行われており、効率化に取り組んでいる。また、令和4年度にはさらなる再編を視野に入れ、中心市街地循環バスの実証運行を行っており、現在は本格運行の導入について検討を行っていることから、より良い路線となるよう動向を注視する必要がある。

また、既存の公共交通での移動が困難な地域において、地域住民主体による新たな交通システムの導入を推進している。富来田地区においては、まちづくり協議会により、自家用有償旅客運送のふくちゃんバスを運行しており、地域における移動手段の一翼を担っている。今後、ほかの交通不便地域においても、地域の意向を踏まえつつ、新たな交通システムの導入を支援していく必要があると考える。

そのほかにも、巖根駅への総武線快速電車の停車に向けた取組やバリアフリー化、久留里線の利用促進、高速バスの利便性向上など、多くの課題があり、新たに策定する地域公共交通計画に基づき、着実に施策を実施することが望まれ、その取組状況を検証していく必要がある。

最後に、委員から交通政策特別委員会への総括として、

- ・高齢者タクシー利用助成事業の対象要件を緩和するなど、運転免許証返納者への対応を充実させていく必要がある。
- ・国土交通省では経営状況が悪化しているローカル路線への国の関与・支援のあり方を検討しており、その動向を注視しながら、JRと行政で連携の上、久留里線にあった取組を行う必要がある。
- ・今後も他自治体の先進的な取組を視察し、本市の参考とすべきである。
- ・交通弱者の方の利便性を優先にして、取組を行う必要がある。
- ・次期においても必要な委員会である。

といった意見が出された。

これら、今後も継続して協議・検討する懸案事項があること、また、公共交通は市民の足として生活に直結する重要事項であることから、本委員会の果たすべき役割は非常に大きいものであり、引き続き調査・研究が必要である。